

# 道徳科 授業づくり講座

いのくち  
in 安芸市立井ノ口小学校

授業をアップデート！  
生きて働く学びを創る！

東部管内の  
講座情報

令和4年9月発行  
東部教育事務所



## 道徳科 授業づくり講座 コンセプト

- 1 「考え、議論する」道徳科の授業づくり  
~指導の要点の明確化と多様な指導の工夫~
- 2 授業力の向上  
~授業改善のPDCA~
- 3 人のつながり、学びの高まりの構築  
~他者との交流から学びの質を高める講座~

【主題名】 くるたのしい

【希望と勇気、努力と強い意志】 低 A (5)

自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと

【教材名】 なわとび(「小学どうとく 生きる力 2」日本文教出版)

【第2学年 授業者】 岩田 壮平 教諭

指導の工夫について考えていく中で、様々な視点からの切り返しや発問について知ることができました。また、授業以外の種まき等の重要性についても学ぶことができたので、引き続き実践していきたいと思えます。



教材研究会  
(5月24日)

提案1 複数の道徳科授業や各教科・特別活動等との関連を図った単元構想

提案2 【授業を通して引き出したい児童の考え】につながる「主題に迫るための工夫(問い返し)」

井ノ口小学校からの提案

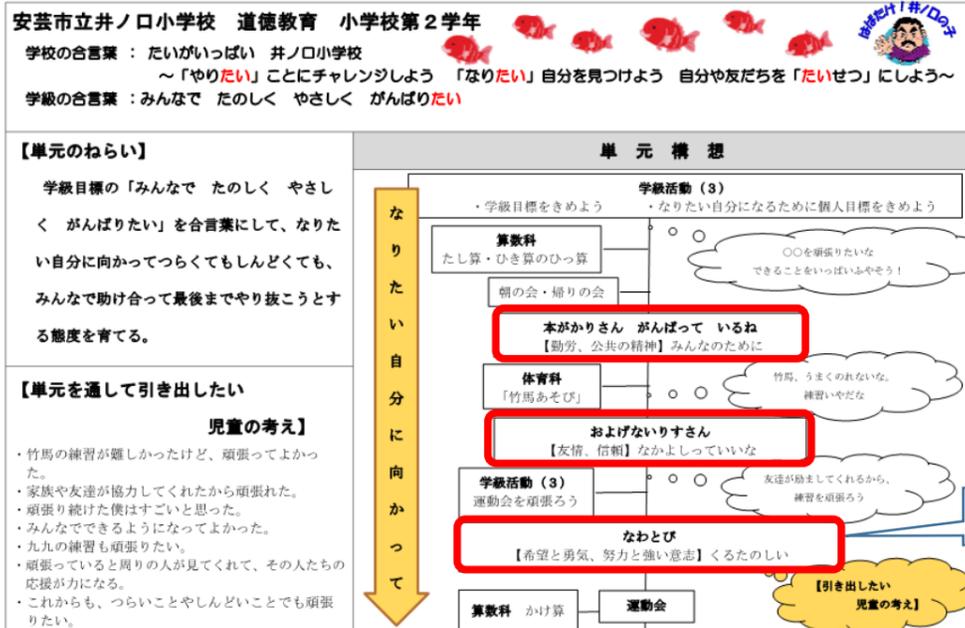


単元構想図

提案1

複数の道徳科授業や各教科・特別活動等との関連を図った単元構想

道徳科



道徳的価値を意図した他教科や特別活動等の実践活動や体験活動を計画的に行い、道徳科では体験を基に児童が考えを深めていけるよう、単元を構想しました。

- 児童生徒の実態や経験を基に、何に気付かせ、何を考えさせるかを明確にして発問や指導の工夫をし、ねらいに迫れるような学習過程を考える必要性を改めて感じた。
- 児童生徒自身に問いをもたせる問題・課題設定のヒントや、主題に迫るために表面的な思考から道徳的価値に深めるための授業づくりのプロセスをイメージできた。

参加者の  
声



提案2

【授業を通して引き出したい児童の考え】につながる「主題に迫るための工夫(問い返し)」

- 【指導の要点】(何を気付かせたいか、何を引き出したいか)
- ・頑張った先には、やって良かったという喜びが待っていることに気付かせる。
  - ・目標を達成したか否かではなく、継続することは自分自身を成長させることに気付かせる。

児童の言葉  
にすると...

【授業を通して引き出したい児童の考え】

- ・できるようになったり褒められたりして嬉しい。
- ・つらいことがあっても、それを乗り越えるといい気持ちになる。くるたのしい。(※「苦しみの先に楽しさがある」という井ノ口小の合言葉)
- ・諦めないで頑張ったら、強くなった気がする。

【本時のねらい】

うまくいなくても何度も練習して跳べるようになった「わたし」の達成感を通して、困難から逃げ出さずに、根気強く努力して、目標に向かって最後までやり抜こうとする態度を育てる。

【学習指導過程】

学習活動 ◆問い返し	児童の反応
1. 年度初めに考えた「なりたい自分になるための個人目標」と「1年後の自分はこうなっている」を見て、今の自分を見つめる。	・1年生でできなかったことが、できるようになっているよ。 ・もうちょっと、頑張らないといけな気がする。
2. 教材を読み、話し合う。 中心発問◎20回続けて跳べた「わたし」は、どんな気持ちになったでしょう。	
主題に迫るための工夫(問い返し) ◆「苦しかったらやめたらいいんじゃない?」 ◆「苦しいのに何で続けるの?」	
3. なりたい自分になるために、苦しくても頑張っていることやその時の気持ちについて考えを書き、交流する。 (ロイロノートの活用)	※上記【授業を通して引き出したい児童の考え】と同じ

グループ協議より

協議の柱:指導の工夫(特に主題に迫るための工夫)について

自分自身との関わりで考えるための工夫

- ・導入は短く、プラスイメージで「がんばっていることはありますか?」などと問う。
- ・導入で児童のがんばっている姿を提示する。(ICT活用)
- ・導入と終末で掲示物「がんばりの木」を活用する。
- ・個人のがんばりを見取っておき、想起させる声かけをする。
- ・終末はノートに書くほうが良いのではないかと。

指導の工夫

多面的・多角的に捉えるための工夫

- ・がんばろうとする気持ちとやめたい気持ちを比較して板書する。(マイナスの気持ちも引き出す)
- ・『わたし』のよいところはどこ?」「どんなことを言ってあげたい?」と問い、諦めないで続けることのよさを引き出す。

主題に迫るための工夫

- (中心発問代案)「続けることがなぜ大切なの?」
- (問い返し代案)「どうして途中でやめなかったの?」「お母さんが手をたたいてくれなかったら? (頑張れる?)」

※Google クラブルーム「R4 井ノ口小 道徳科授業づくり講座」クラスコード【sst1(エル)6f7】で実際の協議シートをご覧いただけます。

主題に迫り、深い学びを実現するための教材研究のポイント

- ★ポイント1 発達の段階と児童生徒の実態を踏まえた「指導の要点」を明確にする  
「分かりきったことを言わせたり書かせたりする」「教師がずっと話している」授業から脱却するためには、「授業で何を気付かせたいか、何を引き出したいか」という【指導の要点】を明確にし、さらに児童生徒の言葉で想定しましょう。
- ★ポイント2 段階的に思考を深めるための「主題に迫るための工夫(問い返し等)」を構想する  
「自分自身との関わりで考えるための工夫」「多面的・多角的に捉えるための工夫」とともに、表層的レベルから道徳的価値レベルへ段階的に思考を深める「主題に迫るための工夫(問い返し等)」を複数考え、授業の流れを構想しましょう。